

岐阜高専創立60周年記念事業

日時

2023年10月29日(日)

第1部 記念式典

10:00-10:40

第2部 特別記念講演

10:55-11:45 (開場 10:40)

会場

岐阜工業高等専門学校
図書館棟1階 多目的ホール

特別記念講演

テーマ：心を動かすエンジニアリング

聴講
無料

※参加申込不要



株式会社 nomena
武井 祥平 氏

1984年岐阜県生まれ。岐阜高専で電気工学、名古屋大学で認知心理学を専攻。2012年東京大学大学院情報学環・学際情報学府修士課程修了。同年、nomena設立。工学的な視座から前例のない表現の可能性を追求する活動を展開。自身の創作活動の他、気鋭のアーティストやデザイナーとの共同制作、テクニカルディレクションも数多く手がける。おもな仕事に、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火台の主任機構設計者、セイコーとの共同制作による作品シリーズ「時計の捨象」、宇宙航空研究開発機構JAXAとの共同研究「スピン型ソーラーセイル形状制御装置」、21_21 DESIGN SIGHT「ルール?展」への出品作「四角が行く」など。

受賞歴に、東京大学総長賞(2012)、電気情報通信学会 MVE 賞(2012)、東京都現代美術館ブルームバーグ・パヴァリオン・プロジェクト公募展グランプリ(2012)、DSA 日本空間デザイン賞金賞(2017)、日本サインデザイン協会 SDA 賞優秀賞(2017) 他

2020年4月より、東京大学大学院 情報学環 非常勤講師。

2021年4月より、早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科 非常勤講師

